

高野長英記念館の風景

秋 まつり

県内各地では おみこしを担ぐ姿や屋台 お囃子の音が聞かれる 秋まつりの時期となりました ここ奥州市でも先ごろ 奥州 YOSAKOI の祭典が盛大におこなわれました

秋まつりはもともと 人々が農業をするようになってから始まり 神様にその土地の農作物を捧げて 今年の収穫を感謝し 来年の豊作を祈願いたしました



ナデシコ



シダレカツラ



ソバの実



カンギク



チャの葉とつばみ



センブリ

(撮影 9月19日)

「高野長英の手紙」(高野長英記念館編集)より

1843年(天保14年)9月24日付けの従弟茂木恭一郎への手紙で、長英(入獄5年目、数え40歳)は、母親の美也が茂木家にお世話になっていることを謝し、自ら積極的に出獄工作を始めています。また、万国地理百巻の翻訳や人足寄場の病人治療を幕府に願い出たりし 出獄を千秋の思いで待ち望んでいる様子が認められます。